



Vol.132

2019年4月号



ふみだそう、福祉でまちづくり

福祉推進委員研修会

ゆるやかなつながりから生まれる 支え合いの地域づくり



みなで力を合わせて支え合うことも大切ですが、ちょっとしたアイデアからひとりの思いや趣味・特技などが活かされ、ゆるやかな人と人のつながりや支え合いが生まれます。

例えば、まちに椅子をひとつ置いてみませんか？

そこから、ゆるやかなつながりが始まるかもしれません。

平成30年度福祉推進委員研修会が平成31年2月16日(土)に行われました。

「ゆるやかなつながりから生まれる支え合いの地域づくり」をテーマに、長野県長寿社会開発センター主任シニア活動推進コーディネーター戸田千登美先生に、県内で工夫しながら、また新しい視点を入れながら身近なところでの地域のつながりや支え合いの取り組みをされている事例をご紹介いただきました。

当日は、福祉推進委員を中心に、区長、民生児童委員など200名を超える大勢の方が参加されました。

平成の元号は、中国の「史記」の中の「内平外成」「内平らかに外なる」と、「書経」の中の「地平天成」「地平らかに天なる」という二節から引用。「国の内外、天地とも平和が達成される」という崇高な意味が込められているとのこと。

私が感じた平成。地震や豪雨などの自然災害、バブル崩壊や不正・偽装、虐待・いじめ・パワハラ、オレオレ詐欺などの不安な一面。少子高齢化、介護保険、ボランティア活動の広がり、各分野のノーベル賞授賞、長野冬季オリンピック開催。身近なところでは、小平奈緒さん金メダル、縄文のビーナス・仮面の女神の国宝指定など、研究、スポーツ、文化芸術など様々な分野での功績、活躍・活動の話題に感激感動し、夢や希望も与えてくれました。

まもなく新元号が発表されますが、私なりに新元号を考えました。

お互い誠実に「信用・信頼」を大切に、信じ合い、助け合い、支え合い、住み慣れた地域で「安心・安全」に、感謝や喜び、命の尊さを感じ、穏やかな暮らしの実現を願って、新元号「安信」いかがでしょうか？



茅野市社会福祉協議会ではボランティア活動を応援しています

平成30年度助成を受けた35団体のうちの一部の団体を紹介します。

米沢読書ボランティアぽっかぽか

私たちのグループは平成12年に結成され10年以上活動しているメンバーがほとんどですが、最近は若いメンバーが入り、和気あいあいと楽しく活動しています。

小学校での朝の読み聞かせや春と秋のお話の部屋、保育園、米沢や中大塩地区こども館でのお話し会など、それぞれの都合に合わせてメンバーが楽しんで活動しています。



押花 なでしこの会

会員の作品をどっこいしょ広場や縄文の湯に展示し、みなさんに楽しんでもいただいています。

また、やすらぎの丘など高齢者施設を訪問し、利用者さんと交流しながら一緒に作品を作成したり、小学校のクラブ活動のお手伝いをしています。色とりどりの押し花に触れ作品を作ること、心の充実感を共有しています。



おひさまクラブ

冬季を除き毎月2回、ゆいわーく茅野 茅野市ゆうゆう館 ふれあいの里の花壇の整備をしています。1年草のほとんどは、自分たちで種から育苗したものを植えています。

作業中、「楽しみにしています」と声をかけていただき、やりがいを感じます。



「パーキンソン病からの贈り物」の会

平成14年にパーキンソン病のご家族の強い希望で発足した会です。ご本人、ご家族、ボランティアが集まり、月1回活動しています。活動の中で音楽療法士、運動療法士、医師からアドバイスを受けることが出来ます。

その他に、絵手紙、笑いヨガ、作品発表会など、楽しいことも取り入れています。その都度悩みを話し合い、生活の知恵や工夫を情報交換することで、病気を前向きにとらえる様になって来ています。生活全体が明るくなるような会を目指しています。ご参加をお待ちしています。



大正琴ロマンハーブの会

高齢者施設や保育園、敬老会などを訪問して、大正琴を演奏しています。

特にデイサービスやサロンでは、一緒に楽しく歌うことで、機能回復や介護予防に役立てられています。

大正琴の演奏に合わせて歌ったり、音色を楽しんでもいただいています。



腹話術友の会ちの

40歳から94歳の男女11人が、毎月数回施設を訪問し、腹話術や各自の特技を披露しています。

80歳以上の会員を70代以下の若い会員が送迎したりで、会員同士ボランティアをしたりされたりの楽しい仲間です。

月1回の例会はお茶を飲みながら打ち合わせをし、南京玉すだれやけん玉などの練習もしています。



かにさん

第1・第3月曜日の午前中、寄付していただいた切手を「カニのはさみ」になったつもりで、楽しく話しながら、切りそろえています。それを年2回、書き損じ葉書や使用済みテレホンカードとともに自然保護団体に送っています。

また、珍しい、可愛い、綺麗な切手で葉を作り、ゆいわーく茅野の受付に置いています。

切手の収集箱は市役所、図書館、縄文の湯などに設置してあります。



平成31年度ボランティア活動助成金を希望するグループは次面をご覧ください。

平成31年度

「ボランティア活動助成金」説明会開催

みなさんにご協力いただきました「赤い羽根共同募金」は、茅野市を良くしていく活動を応援するため、ボランティア活動の助成に活用されています。

これから活動を立ち上げたいグループや引き続き助成金を希望するグループは、昼の部・夜の部のどちらかに必ずご出席ください。

日 時：4月19日(金) 昼の部 午後2時～

夜の部 午後7時～

場 所：茅野市ひと・まちプラザ3階 集会室

その他：出席される方はグループのメンバーであれば代表者でなくてもかまいません。

問合せ：茅野市社会福祉協議会 地域福祉活動推進係

電話 73-4431



赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました

昨年10月から12月まで行なわれた「赤い羽根共同募金」運動。市民のみなさんをはじめ、企業・学校・団体等からたくさんのお寄せいただきました。

ご協力に感謝申し上げますとともに、結果をご報告いたします。

平成30年度の募金総額は **8,195,363円** でした。

各地区の戸別募金

ちの	1,196,543円
宮川	1,127,072円
米沢	361,618円
豊平	735,813円
玉川	1,351,224円
泉野	278,575円
金沢	399,122円
湖東	357,659円
北山	434,820円
中大塩	225,099円

各地区の法人募金

宮川	415,500円
米沢	106,000円
豊平	246,180円
泉野	76,000円
金沢	187,000円
湖東	352,000円
北山	106,500円

学校の募金

宮川小学校	豊平小学校
泉野小学校	金沢小学校
湖東小学校	永明中学校
長峰中学校	北部中学校
合計	52,565円

その他の募金

ボーイスカウト茅野第1団	33,000円
ガールスカウト長野県第2団	30,000円
オギノ・サントリーフーズ	23,734円
SUWAオプトロニクス	10,502円
イオングループ各店舗	2,866円
茅野市社協・各SC	10,648円
街頭募金	11,551円
その他	63,772円



ご協力いただいた募金のうち約60%の4,622,363円が茅野市内での福祉活動に使われ、残りの40%の3,573,000円は、長野県内の福祉活動・防災活動等に使われます。

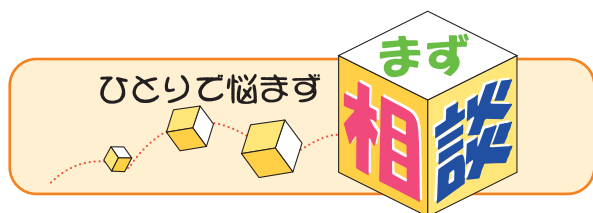
ファミリー・サポート・センター事業 事務局の移管について(お知らせ)

平成28年度より社協で実施してまいりましたファミリー・サポート・センター事業を平成31年4月1日より、茅野市役所こども課に事務局を移し、茅野市が直営で行います。

変更後の連絡先は次のとおりです。

ファミリー・サポート・センター事務局
茅野市塚原二丁目6番1号
茅野市役所(6階)こども課
(電話) 75-0455《直通》

※ 電話番号は変更ありません。



人生には様々な悩みがあります。
「誰にも相談できない」
「どこに相談したらよいかわからない」
そんなときは、まず社協にお電話ください。
すべての相談会場は
社協相談室（茅野市ひと・まちプラザ2階）になります。
TEL 73-4431

心配ごと相談

どんなことでもご相談ください。
毎週金曜日 午前9時～正午
相談員：心配ごと相談員
心の悩み相談には、事前の予約が必要です。
（精神保健福祉社が対応）

結婚相談

結婚を望まれる方の相談
毎月第1・3土曜日 午後1時～午後4時
毎月第2・4金曜日 午後6時30分～午後8時30分
相談員：結婚相談員

司法書士の法律相談（予約制）

身近な法律に関する相談
毎月第2水曜日 午後3時～午後5時
相談員：司法書士

ど寄付ありがとうございました

平成30年12月1日～平成31年1月31日まで

（順不同、敬称は省略させていただきます。）

【寄付金】

長野県理容生活衛生同業組合 諏訪支部	28,000円
地域活動活性化資金運用委員会	134,200円
株式会社三井の森 代表取締役社長 上田隆康	200,000円
明るい社会づくり運動茅野市協議会	81,488円
茅野ライオンズクラブ	90,000円
茅野レオクラブ	8,000円
長峰区高齢者クラブ峰寿会 1円玉募金	15,482円
諏訪友の会	10,000円
学校法人 聖リゴリオ学園 茅野聖母幼稚園	30,000円
SUWA オプトロニクス 労働組合	9,531円

【遺志金】

百瀬慎一	100,000円
【寄贈】	
平澤 聖	洗剤類等

みなさんからいただいたご寄付は、社協運営事業、ボランティア活動の支援等に使われています。

※この他にも匿名で多くの物品やご寄付をいただいております。

社協広報紙 やらざあ Vol.132

2019年4月号

発行／社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会

編集／やらざあ編集委員会

〒391-0002

茅野市塚原2-5-45 茅野市ひと・まちプラザ2階

TEL (0266) 73-4431

FAX (0266) 73-8030

URL: <http://sharara.or.jp>

E-mail: support@sharara.or.jp

読者の声

・ 今月号の金田和尚のつぶやきの中に“ありがとう…”とありました。“すみません”ではなく“ありがとう”は奇跡のことばとされています。ありがとうと言われて嫌な気持ちになる人はいませんから…
（玉川 60代女性）

・ クイズは母が好きで家族でやりました。イッピーのカットに行ったことがあり、また行こうかなと思いました。
（玉川 10代男性）

・ 広報ちののスケートセンターの写真が表紙で目にとまりました。（小学校6年間スケートをしていたので）パラパラと見てみると、お神楽が表紙のやらざあが目にとまり…そこから金田和尚って「真徳寺（下古田）」かな…と読みすすめ余った年賀状を手に取り今に至ります。たぶんここまでしっかり読んだのは初めてです。でも、これをきっかけにまた読む機会が増えそうです。「金田和尚のつぶやき」次回も楽しみです。
（ちの 20代女性）

・ 金田和尚のつぶやき毎回読ませていただいています。“ありがとう”と言われるように言うように心がけたいです。
（金沢 9歳女性）

・ 今はいきいきサロン等ボランティアの活動をしていますが、いずれ社会資源を利用するときにいろいろ勉強していきたいと思います。わかりやすい研修をお願いします。
（金沢 70代女性）

・ 本町の伝統行事「お神楽」は素晴らしい写真と共に大迫力！子どもたちの参加は生涯の地域とのつながり懐かしい思い出となるでしょう。

「かんてんぱぱ」は地域客着型の多彩な食品を開発し以前參觀した楽しい思い出が甦りました。「ありがとうと言われるように言うように」一塚越会長さんの呼びかけ、わが家の親子、孫たち、夫婦でも心がけたいと思います。

（ちの 80代男性）

今回のクイズ

季語



季語ではない言葉はどれでしょう？

①五月晴 ②五月雨 ③五月恋 ④五月富士

応募要領

クイズの答え、住所、氏名、年齢（年代）、電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらざあ編集委員会までお送り下さい。ハガキや封書その他、ホームページのお問い合わせフォームからも応募できます。正解者の中から抽選で3名の方に図書カードを差し上げます。

応募締め切り 平成31年4月10日（水）

前回のクイズの答え 春

当選者

伊藤たかえさん（湖東） 柳平尚美さん（豊平）
竹内裕輝さん（玉川）

当選された方には図書カードをお送りいたします。

ご応募ありがとうございました。



社協広報紙 やらざあ の発行にはみなさんの社協会費と共同募金が使われています。